

帯状疱疹 ワクチン予防接種のご案内

予防接種費用の一部を助成します！

接種を希望される方は、以下の2種類のワクチンから1つを選び、医療機関へご予約ください。

対象者

山元町に住所がある方のうち、
令和8年4月1日時点の年齢が65歳、70歳、75歳、
80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の方

定期予防接種実施期間(費用助成が受けられる期間)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

※本期間を過ぎると
全額自己負担での
接種となります。

ワクチン種類		生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	不活化ワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)
接種回数(接種方法)		1回(皮下に接種)	2回(筋肉内に接種)
自己負担額		4,000 円	10,000 円 × 2 回 合計 20,000 円
接種スケジュール		—	2か月以上の間隔を空けて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下する可能性のある方は、医師の判断により接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種できない方		病気や治療によって免疫が低下している方は接種不可	免疫の状態に関わらず接種可能
接種に注意が必要な方		輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いてください。	筋肉内に接種するため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施している方は注意が必要です。
ワクチンの効果	接種後1年	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年	—	7割程度の予防効果
主な副反応	70%以上	—	注射部位の疼痛
	30%以上	注射部位の発赤	注射部位の発赤・筋肉痛・疲労
	10%以上	注射部位のそう痒感・熱感・腫脹・疼痛・硬結	注射部位の腫れ・頭痛 悪寒・発熱・胃腸症状
	1%以上	発疹・倦怠感	注射部位のそう痒感・倦怠感・その他の疼痛

※合併症の1つである带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、不活化ワクチンは9割以上と報告されています。

※ワクチンを接種後に上記副反応のほかにも、頻度は不明ですが、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎がみられることがあります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医またはかかりつけ医を受診してください。

お問合せ 山元町健康推進課 0223-36-8660